

こ だ い ら

市議会だより



競技への招待



自然科学者



ピエロ

この春、小平グリーンロードに設置される齋藤素巖のブロンズ作品

12月定例会は11月29日から12月20日まで開催されました。生活保護、児童扶養手当の国庫負担金引き下げ案の撤回を求める意見書など3件の議員提出議案、及び小平市民文化会館などの指定管理者の指定に関する8議案、平成16年度小平市一般会計歳入歳出決算の認定など37件の市長提出議案を原案のとおり可決しました。請願は、各常任委員会で審査し、5件を採択、3件を閉会中の継続審査としました。

また、市政全般にわたっては、21人の議員から54件の一般質問がありました。

12月定例会

指定管理者の指定について 8議案を可決

平成16年度各会計決算を認定

新年を迎えて



副議長
住田 景子



議長
石塚 信治

あけましておめでとうございます。

日ごろより市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り市議会を代表して心よりお礼申し上げます。

昨年は、国内外で重大な事件や事故が起き、それが私たちの生活にまで影響を及ぼし、「安全・安心」が揺らいだ1年ではなかったかと思えます。

市におきましては、昭和51年から開始された小平市民まつりが、昨年第30回を迎えました。フィナーレには、市内の小学生を中心とした小平よさこい和踊りが行われ、市民が心一つにして交流と触れ合いの輪を広げた記念すべき節目の年となりました。また、現行の市の新長期総合計画が平成17年度で終了するため、平成18年度から32年度までの市の指針となる小平市第三次長期総合計画基本構想を可決しました。現行の長期総合計画はおおむね9割達成することができましたが、このような成果を上げることができましたのも、市民の皆様方のご支援とご協力のたまものと深く感謝を申し上げます。今後市議会といたしましては、「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」と定めた将来都市像を目指し、緑と住みやすさを大切に、さらに自立し活力のあるまちの実現に向けて全力を尽くしてまいります。

さて本年は、花小金井駅北口都市基盤整備事業が3月に完了し、5月には東部市民センターがリニューアルオープンする予定です。また、小川町二丁目地域センター！児童館の建設工事に着手するとともに、齋藤素巖の作品を(仮称)小平グリーンロード美術館に展示します。

このような中、小平市の財政状況は国の三位一体改革が推進されるものの、一層厳しさを増すものと予想されます。こうした時代だからこそ、議会の果たす役割もますます重要なものになってくると考えます。これからの市議会では、市民の多様なニーズにこたえるために、積極的に議論を尽くしてまいります。

年頭に当たり、市民の皆様にとって本年が希望に満ちあふれた明るい年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

